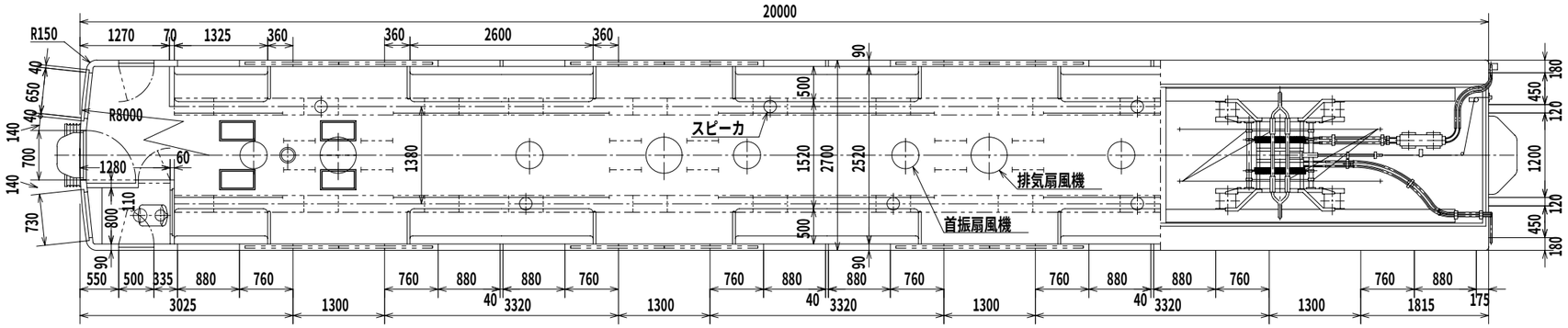
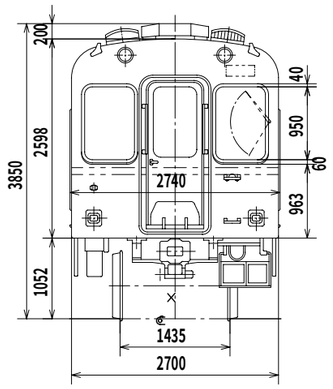
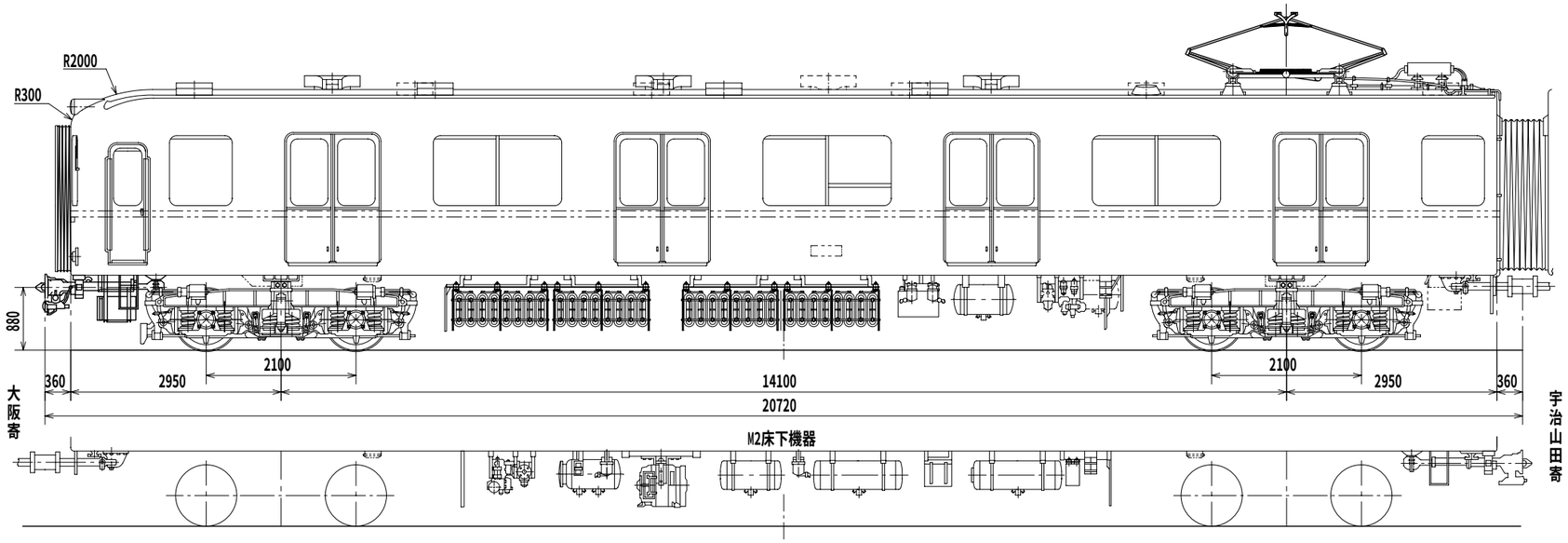
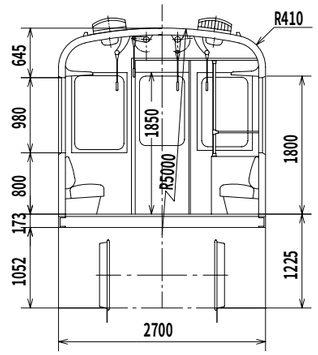
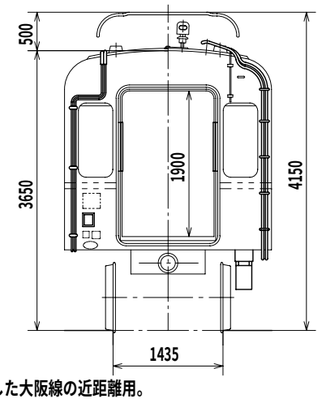
近畿日本鉄道　モ1470形式図



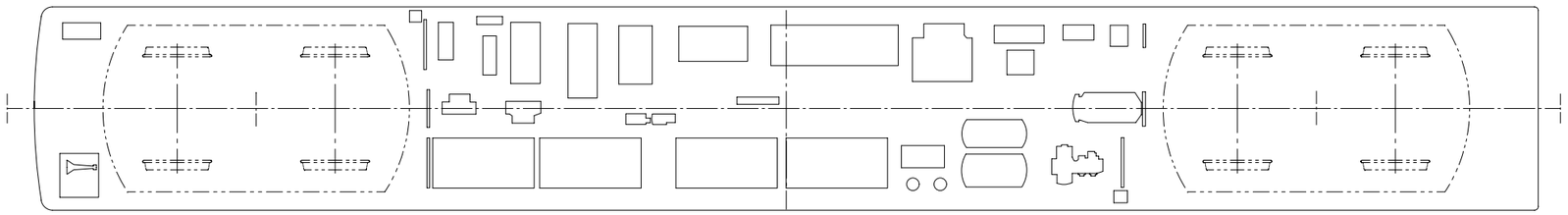




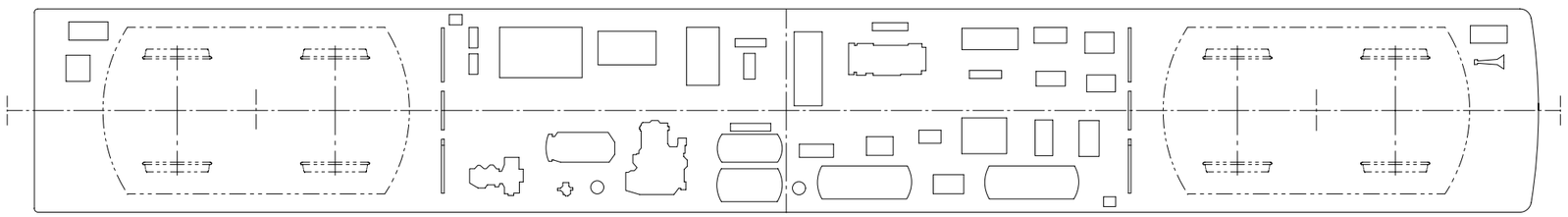




M1（奇数車）



M2（偶数車）



1959年に誕生した大阪線の近距離用。
1957年製1460形の改良型といってよく、南大阪線の6800系(ラビットカー)や名古屋線用1600系などと同系で、このスタイルは近鉄の近距離用標準型の一つとなった。
図は奇数車の製造当初の姿で台車KD36。
これと対になる偶数車の床下も掲げたが、車体ではパンタがないのでベンチレータの位置が異なる、点線でそれを示したが、このほか連結面寄りドア中心にもガーランドベンチレータが付くことを付記する。
当初はピンクの入った非常に薄いクリームに空色の帯を配し、屋根がグレーという明るい塗装であったが、後マルーン一色に変わった。
尚同系の発展型で2個パンタの増備車1480形を製作。